

2014年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科							
科目名	電磁気学 I							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江上 典文							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な電荷分布を与えたときの静電界を求めることができる。(A2) ・電界、電位、電圧の関係がわかる。(A2) ・導体系における電気容量の定義を覚え、静電界とキャパシタの関係を知る。(A2) ・誘電体における誘電分極、電束密度について知る。(A2) ・簡単な直流回路の要素について知る。(A2,A7) 							
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、電界に関するガウスの法則 4/18 電界中での仕事 4/25 位置エネルギー 5/2 電位 5/9 等電位面、導体と静電界 5/16 キャパシタと電気容量 5/23 キャパシタの合成 5/30 静電エネルギー、誘電体とキャパシタ 6/6 電束密度 6/13 静電界のまとめ 6/20 電流・抵抗、オームの法則 6/27 直流回路 7/4 キルヒホッフの法則、電流と仕事 7/11 熱電効果 7/18 総合演習 7/25 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な電荷分布を与えたときの静電界を求めることができる:達成した ・電界、電位、電圧の関係がわかる:達成した ・導体系における電気容量の定義を覚え、静電界とキャパシタの関係を知る:達成した ・誘電体における誘電分極、電束密度について知る:達成した ・簡単な直流回路の要素について知る:達成した 							
反省点	現状では講義の進め方などの工夫が十分ではなく、講義に興味を持っていない学生や、ついていけない学生が若干名、認められる点。							
来年度の計画	講義の内容とレベルは現状を維持しつつ、講義が「理解」できるよう、さらに噛み砕いて説明したい。							
授業評価アンケートに対するコメント	講義がわかりやすかったなどの肯定的意見が約15名いたが、一方で、睡眠学習という回答もあり、いかに興味を持たせるかが今後の課題。電磁気学という学問の性質上、興味を抱かせることはかなり難しいが、講義の進め方などを工夫することで、わずかでも興味を持てるよう尽力したい。							
履修登録者数	72名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	60名	合格率	87%	